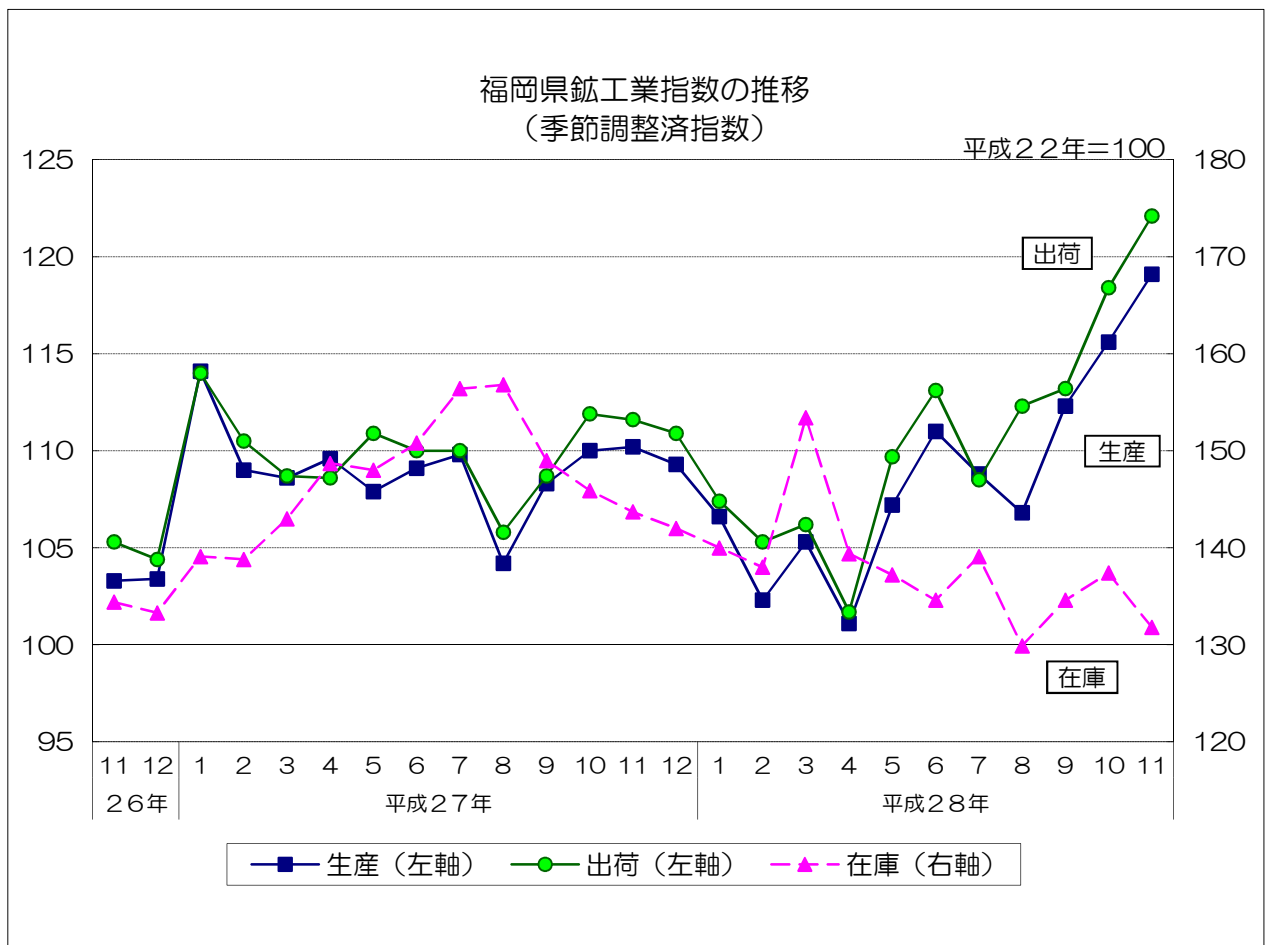


平成22年基準

福岡県鉱工業指数月報

(平成28年11月)



平成28年11月の鉱工業指数

概況

○ 平成28年11月の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前月比3.0%上昇の119.1、出荷が同3.1%上昇の122.1、在庫が同4.1%低下の131.8となった。

- (1) 生産
 季節調整済指数 : 119.1で前月比3.0%上昇 (3か月連続の上昇)
 原指数 : 120.9で前年同月比9.8%上昇 (4か月連続の上昇)
- (2) 出荷
 季節調整済指数 : 122.1で前月比3.1%上昇 (4か月連続の上昇)
 原指数 : 124.1で前年同月比11.3%上昇 (4か月連続の上昇)
- (3) 在庫
 季節調整済指数 : 131.8で前月比4.1%低下 (3か月ぶりの低下)
 原指数 : 137.2で前年同月比8.3%低下 (8か月連続の低下)

○ 前月比（季節調整済）

	[上昇]	[横ばい]	[低下]
生産（19業種中）	11業種	0業種	8業種
出荷（19業種中）	13業種	0業種	6業種
在庫（18業種中）	9業種	1業種	8業種

(1) 九州・全国との比較

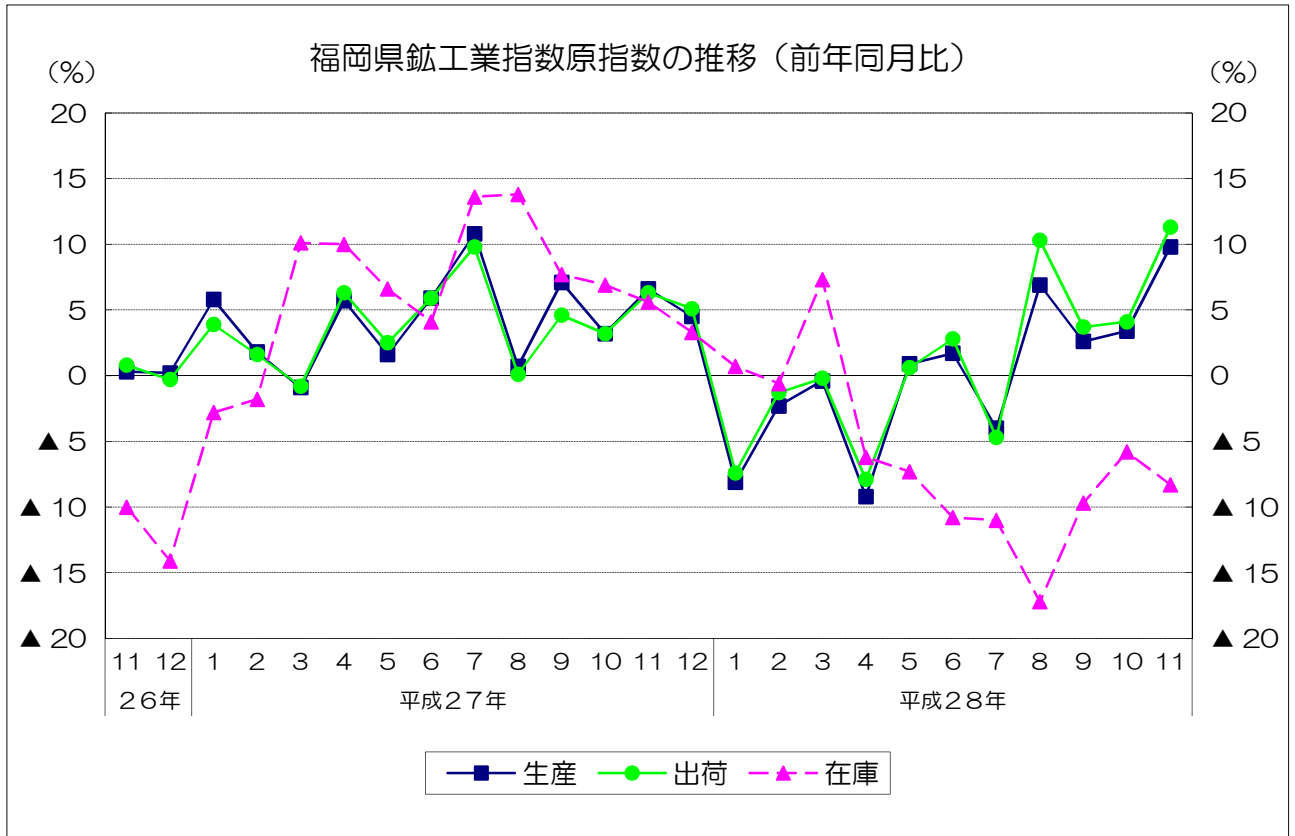
（平成22年＝100）

		季節調整済指数		原指数	
			前月比%		前年同月比%
福岡県	生産	119.1	3.0	120.9	9.8
	出荷	122.1	3.1	124.1	11.3
	在庫	131.8	▲4.1	137.2	▲8.3
九州	生産	110.8	3.4	112.9	12.0
	出荷	115.7	1.1	117.7	12.8
	在庫	112.4	▲2.7	113.9	▲10.1
全国	生産	99.9	1.5	101.9	4.6
	出荷	99.3	1.0	100.8	5.1
	在庫	106.9	▲1.6	109.9	▲4.8

(2) 前月比（季節調整済）での上昇低下（生産指数のみ）

上昇に寄与した業種	低下に寄与した業種
輸送機械工業 電子部品・デバイス工業 金属製品工業 窯業・土石製品工業 印刷業 鉄鋼業 パルプ・紙・紙加工品工業 ゴム製品工業 非鉄金属工業 繊維工業 鉱業	食料品・たばこ工業 はん用・生産用機械工業 電気機械工業 木材・木製品工業 プラスチック製品工業 化学工業 家具工業 石炭製品工業

(3) 原指数の推移



(4) 四半期別指数の推移

平成22年=100

		生産		出荷		在庫	
		季節調整 済指数	前期比 (%)	季節調整 済指数	前期比 (%)	季節調整 済指数	前期比 (%)
27年	7~9月期	107.4	▲ 1.4	108.2	▲ 1.5	149.0	▲ 1.2
	10~12月期	109.8	2.2	111.5	3.0	142.0	▲ 4.7
28年	1~3月期	104.7	▲ 4.6	106.3	▲ 4.7	153.4	8.0
	4~6月期	106.4	1.6	108.2	1.8	134.6	▲ 12.3
	7~9月期	109.3	2.7	111.3	2.9	134.6	0.0
		原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)
27年	7~9月期	110.8	6.4	110.9	5.0	158.4	7.7
	10~12月期	110.4	4.7	112.9	4.8	138.9	3.3
28年	1~3月期	105.1	▲ 3.5	106.6	▲ 2.8	138.6	7.3
	4~6月期	104.4	▲ 2.2	105.5	▲ 1.4	134.0	▲ 10.8
	7~9月期	112.4	1.4	113.7	2.5	143.0	▲ 9.7

※在庫の数値は期末値。

全業種・主要8業種の動向
(平成28年11月)

○ 全業種の動向

- (1) 生産指数は119.1(季節調整済)となり、前月と比べると、食料品・たばこ工業、はん用・生産用機械工業などが低下したが、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業などが上昇したため、総合で前月比3.0%上昇(前年同月比9.8%上昇)となった。
- (2) 出荷指数は122.1(季節調整済)となり、前月と比べると、鉄鋼業、食料品・たばこ工業などが低下したが、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業などが上昇したため、総合で前月比3.1%上昇(前年同月比11.3%上昇)となった。
- (3) 在庫指数は131.8(季節調整済)となり、前月と比べると、はん用・生産用機械工業、食料品・たばこ工業などが上昇したが、輸送機械工業、金属製品工業などが低下したため、総合で前月比4.1%低下(前年同月比8.3%低下)となった。

○ 主要8業種の動向

[生産]

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	2.2	6.6	亜鉛めっき鋼板、鋼帯、軌条・外輪等
金属製品	5.7	0.4	ガス湯沸器、粉末や金製機械材料、架線金物等
はん用・生産用機械	▲4.5	▲1.0	バルブ・コック、固定比減速機、ショベル系掘削機等
電子部品・デバイス	16.7	1.4	トランジスタ等
輸送機械	6.4	28.6	四輪自動車等
窯業・土石製品	4.6	5.2	ほうろろ鉄器、耐火れんが、ガラス製容器類等
化学	▲1.0	▲4.0	ポリカーボネート等
食料品・たばこ	▲3.9	▲2.2	ビール、発泡酒(その他雑酒含む)等
総合	3.0	9.8	—

[出荷]

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲8.5	9.1	軌条・外輪、特殊鋼冷間仕上鋼材等
金属製品	4.9	7.1	金網、スチール又はステンレスシャッター、ビル用アルミサッシ等
はん用・生産用機械	▲4.4	▲2.5	バルブ・コック、固定比減速機等
電子部品・デバイス	24.4	6.6	トランジスタ、整流素子、計数回路等
輸送機械	6.9	29.3	四輪自動車等
窯業・土石製品	3.6	11.2	ほうろろ鉄器、生コンクリート、不定型耐火物等
化学	1.2	9.4	ビスフェノールA、炭酸ガス等
食料品・たばこ	▲4.2	▲3.7	ビール等
総合	3.1	11.3	—

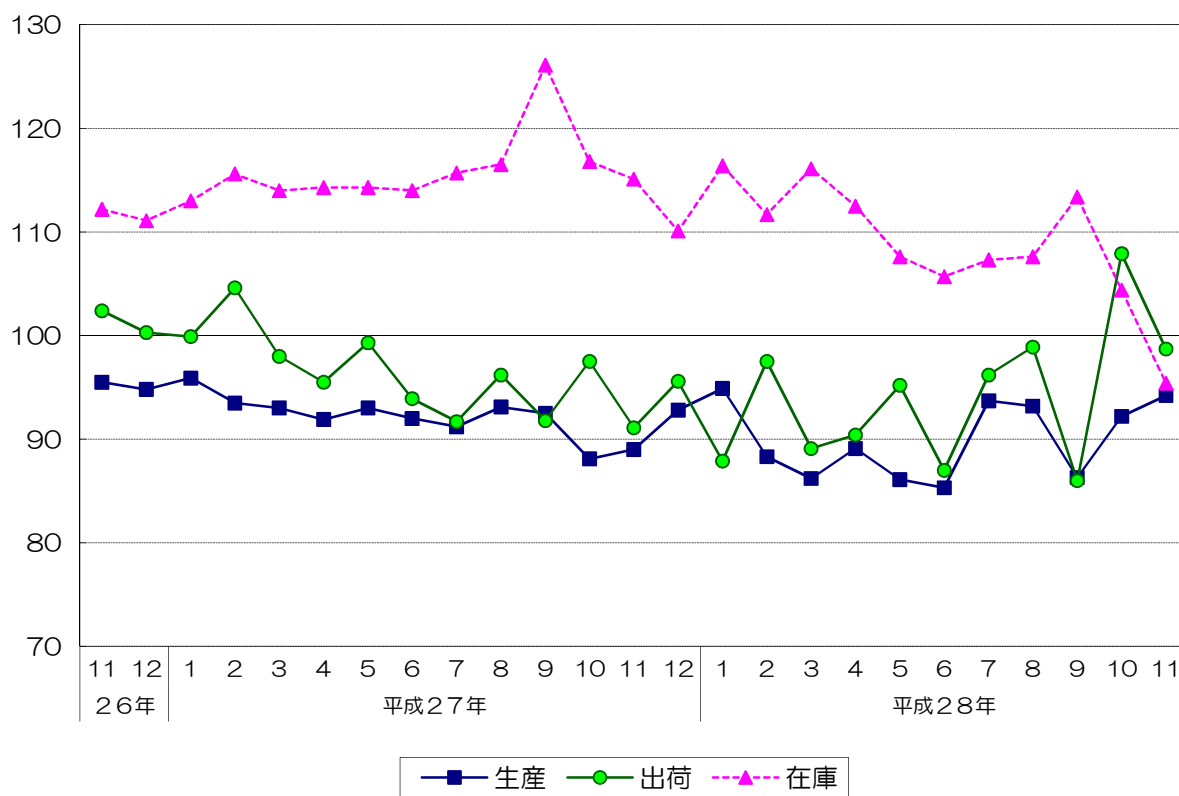
[在庫]

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲8.6	▲17.2	鋼半製品、特殊鋼熱間圧延鋼材、冷延電気鋼帯等
金属製品	▲10.8	3.2	飲料用缶、金網、スチール又はステンレスシャッター等
はん用・生産用機械	4.5	▲13.8	ショベル系掘削機等
電子部品・デバイス	▲22.9	▲20.2	線形回路
輸送機械	▲10.3	4.5	四輪自動車等
窯業・土石製品	▲2.9	40.7	セメント、遠心力鉄筋コンクリート製品、プレストレストコンクリート製品等
化学	▲2.2	▲27.7	ポリカーボネート等
食料品・たばこ	3.6	0.9	発泡酒(その他雑種含む)、のり、砂糖等
総合	▲4.1	▲8.3	—

(注) 前月比は季節調整済指数、前年同月比は原指数による。

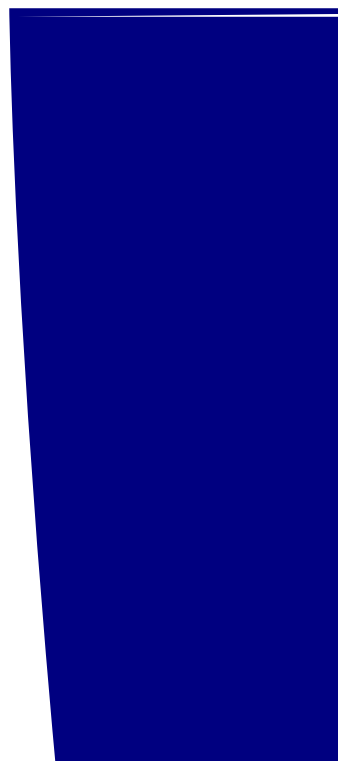
鉄鋼業 (季節調整済指数)

平成22年=100



金属製品工業 (季節調整済指数)

平成22年=100





化学工業 (季節調整済み)

平成22年=100



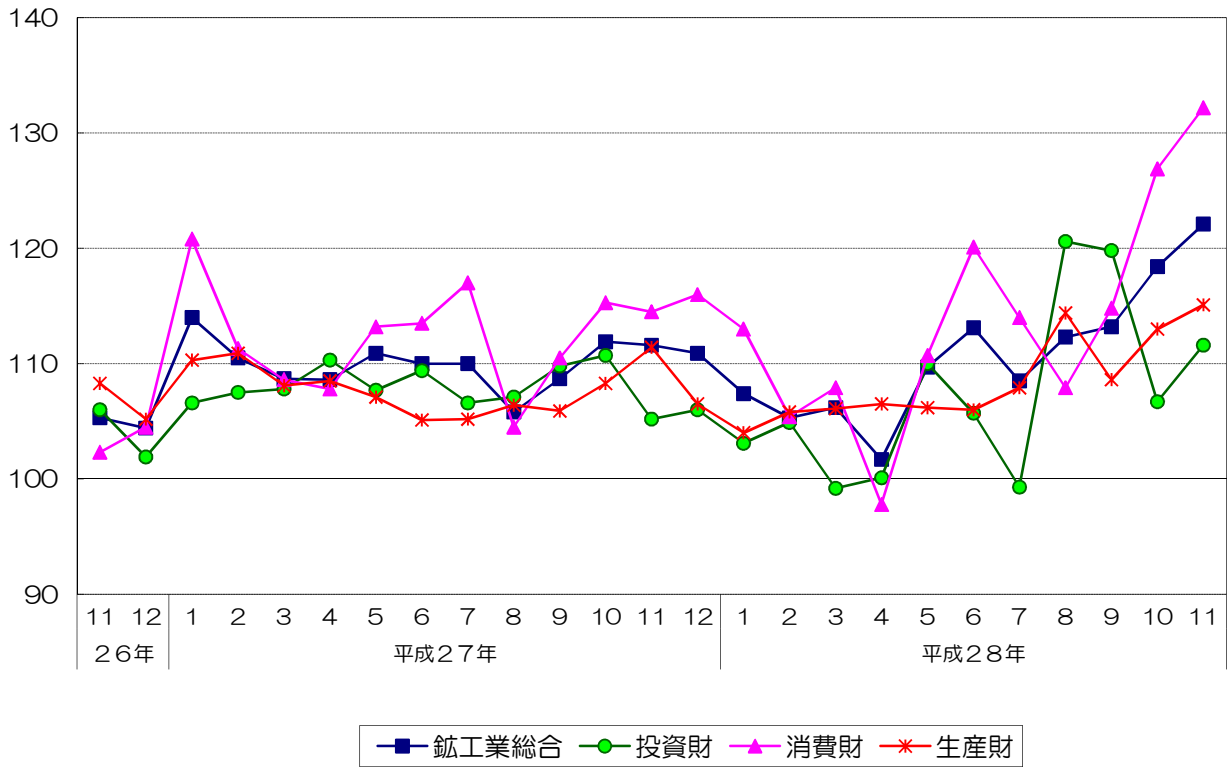
食料品・たばこ工業 (数値)

平成22年=100

福岡県鉱工業出荷指数財別の推移（季節調整済指数）

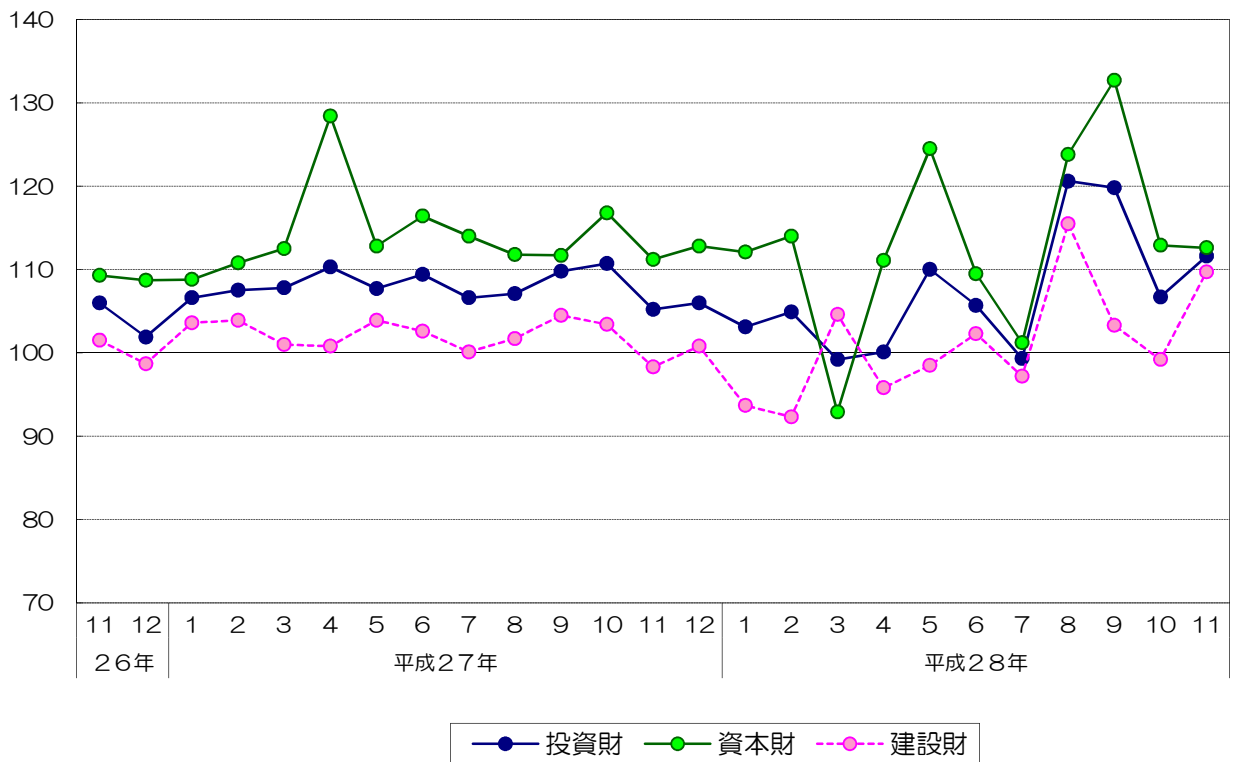
鉱工業総合

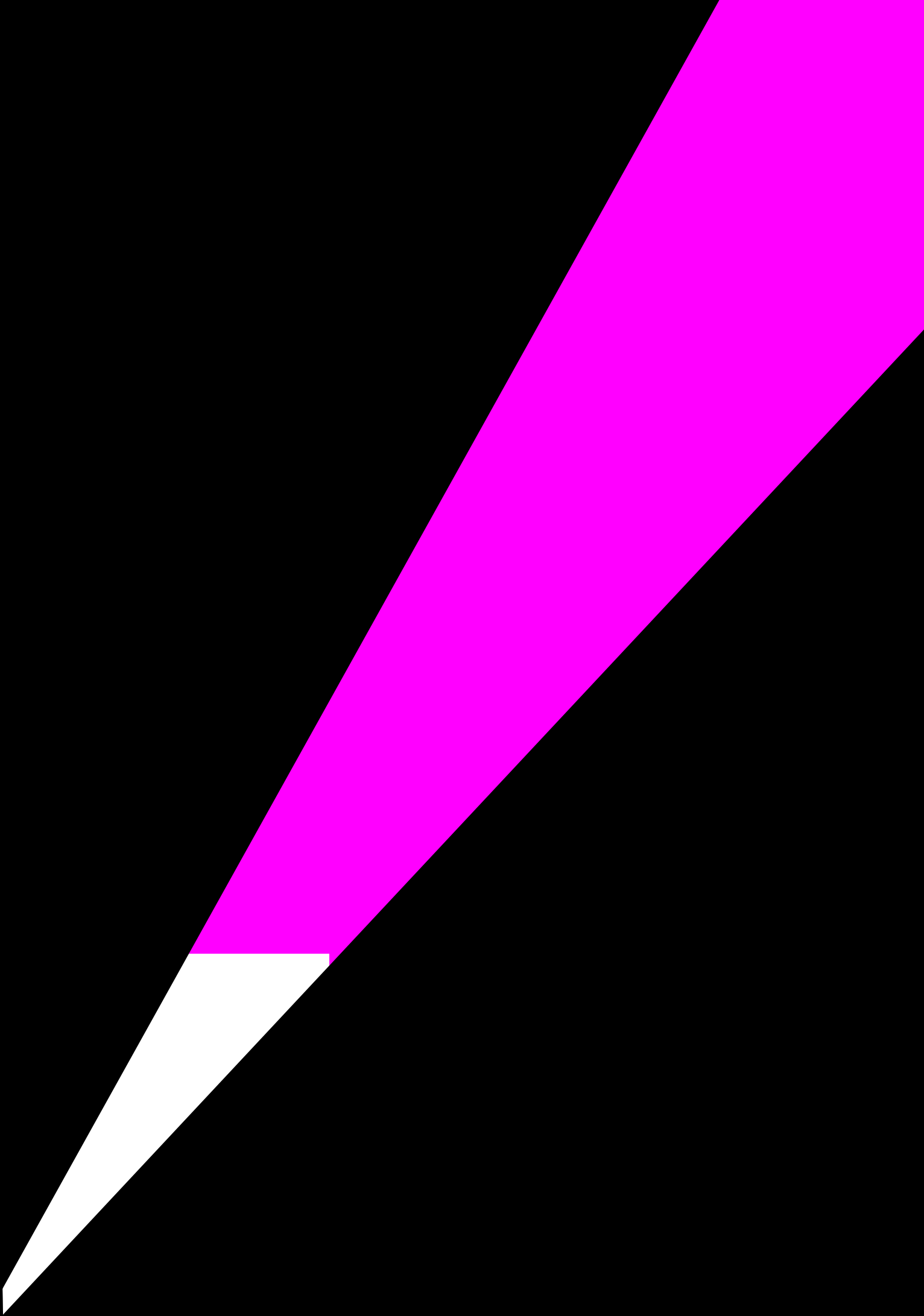
平成22年=100



投資財

平成22年=100





福岡県鋳工業指数の作成要領

1. 目的
福岡県の鋳工業の動向を、総合的に把握することを目的とする。
2. 基準年次
平成22年（2010年）を基準年とする。
3. 作成の範囲
日本標準産業分類の鋳業及び製造業を基礎とした産業の生産指数（付加価値額ウェイト）、生産者出荷指数及び生産者製品在庫指数について、原指数と季節調整済指数を作成した。
4. 分類
日本標準産業分類を基本とした業種分類と、採用品目の用途により財別に格付けした特殊分類の2通りの方法によっている。
5. 採用品目
生産指数及び生産者出荷指数は187品目、生産者製品在庫指数は118品目である。
6. ウェイト
生産、出荷及び在庫指数のウェイトは、基準年次の付加価値額、生産者出荷額及び生産者製品在庫指数の鋳工業に対する各品目の一万分比である。
7. 作成の方法
総合算式は、基準時固定加重算術平均法（ラスパイレス算式）である。
8. 季節調整
季節調整の方法は、センサス局法を使用している。
季節調整済指数とは、季節調整済指数で原指数を割ることによって、季節変動を除去した系列のことである。
9. 統計表中の符号
「-」：該当する数値がない場合
「0.0」：数値が単位未満の場合
「▲」：マイナスの場合
「x」：秘匿の場合
10. 資料
経済産業省生産動態統計調査、その他既存の資料及び県調査による。

平成22年基準 福岡県鋳工業指数月報
(平成28年11月)

福岡県企画・地域振興部調査統計課
代 表 (092) 651-1111

直 通 (092) 643-3190
F A X (092) 643-3192
e-mail chosa@pref.fukuoka.lg.jp